



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フォーバル
コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二

TEL 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	24,550	2.3	1,324	31.1	1,272	28.7	771	63.5
28年3月期第2四半期	24,003	16.1	1,011	9.6	988	10.4	472	△8.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,397百万円 (169.3%) 28年3月期第2四半期 518百万円 (36.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	30.29	30.29
28年3月期第2四半期	18.47	18.47

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	19,870	8,471	39.0	303.57
28年3月期	20,534	7,493	33.2	267.52

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,739百万円 28年3月期 6,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.50	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	4.2	2,450	3.0	2,450	5.1	1,400	3.6	54.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	27,732,622 株	28年3月期	27,732,622 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,237,448 株	28年3月期	2,254,407 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	25,483,714 株	28年3月期2Q	25,557,266 株

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。期中平均株式数は、当該株式分割が平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱問題や中国における景気の下振れリスク等の懸念から、設備投資が伸び悩み個人消費も低迷するなど不透明な状況が続いています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信分野）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外分野）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境分野）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育分野）」の4分野に特化することで他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような環境のもと当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ546百万円増加し、24,550百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ932百万円増加（前年同期比13.2%増）したことで、販売費及び一般管理費が人員増による人件費の増加等により前年同期に比べ618百万円増加（前年同期比10.3%増）したものの、営業利益は1,324百万円（前年同期比31.1%増）、経常利益は1,272百万円（前年同期比28.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は771百万円（前年同期比63.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が順調に拡大したほか、セキュリティ関連や複写機等の販売が好調に推移した結果、売上高は8,900百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント利益は847百万円（前年同期比51.3%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやISPが順調に拡大した結果、売上高は6,955百万円（前年同期比10.3%増）となりましたが、印刷関連及び保険関連の子会社の売上高が減少した影響でセグメント利益は299百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比2.8%減となったことで売上高は4,872百万円（前年同期比7.1%減）となりましたが、原価率の低減により販売費及び一般管理費の増加を吸収しセグメント利益は179百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

産業用システムが減少した結果、売上高は3,254百万円（前年同期比9.2%減）となりましたが、原価率の低減と販売費の大幅削減によりLED関連事業参入による人件費の増加を吸収しセグメント利益は6百万円（前年同期は64百万円の損失）となりました。

<その他事業グループ>

IT教育サービス事業関連の子会社の売上高が減少した結果、売上高は566百万円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は41百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ664百万円減少し19,870百万円となりました。

流動資産は14,482百万円となり、前連結会計年度末比1,283百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が949百万円、受取手形及び売掛金が610百万円減少したことによるものです。

固定資産は5,388百万円となり、前連結会計年度末比619百万円の増加となりました。これは主として無形固定資産が77百万円、投資その他の資産が509百万円増加したことによるものです。

流動負債は9,193百万円となり、前連結会計年度末比1,605百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が556百万円、未払法人税等が510百万円減少したことによるものです。

固定負債は2,204百万円となり、前連結会計年度末比36百万円の減少となりました。

純資産は8,471百万円となり、前連結会計年度末比977百万円の増加となりました。これは主として株主資本が389百万円、有価証券の時価上昇等でその他の包括利益累計額が533百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は4,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ949百万円の減少となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は66百万円(前年同期は338百万円の獲得)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が1,274百万円、売上債権の減少による資金の増加が559百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が557百万円、前払費用の増加による資金の減少が207百万円、未払金の減少による資金の減少が162百万円、法人税等の支払額が815百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は360百万円(前年同期比0.3%増)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が60百万円、無形固定資産の取得による支出が217百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は512百万円(前年同期は8百万円の獲得)となりました。これは主として短期借入金の純減額が50百万円、配当金の支払額が392百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、平成28年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,756,026	4,806,161
受取手形及び売掛金	5,545,587	4,934,723
商品及び製品	890,382	981,394
仕掛品	64,524	55,952
原材料及び貯蔵品	33,307	40,897
その他	3,547,486	3,749,202
貸倒引当金	△71,443	△86,243
流動資産合計	15,765,871	14,482,088
固定資産		
有形固定資産	492,471	523,890
無形固定資産		
のれん	184,376	189,816
その他	493,443	565,963
無形固定資産合計	677,819	755,780
投資その他の資産		
投資有価証券	1,460,215	2,210,721
その他	2,491,577	2,297,438
貸倒引当金	△353,319	△399,820
投資その他の資産合計	3,598,473	4,108,338
固定資産合計	4,768,764	5,388,009
資産合計	20,534,636	19,870,098
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,184,858	4,627,959
短期借入金	674,396	622,363
未払金	1,807,218	1,693,115
未払法人税等	864,075	353,829
賞与引当金	525,878	430,626
役員賞与引当金	166,158	79,498
返品調整引当金	21,969	16,065
その他	1,554,748	1,370,340
流動負債合計	10,799,303	9,193,798
固定負債		
長期借入金	43,252	33,087
退職給付に係る負債	2,126,334	2,100,392
持分法適用に伴う負債	30,251	33,784
その他	41,583	37,245
固定負債合計	2,241,421	2,204,510
負債合計	13,040,725	11,398,308

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,272,139	2,275,627
利益剰余金	1,147,130	1,524,089
自己株式	△1,221,144	△1,211,968
株主資本合計	6,348,420	6,738,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	575,688	1,107,506
為替換算調整勘定	△8,556	△17,528
退職給付に係る調整累計額	△99,653	△88,523
その他の包括利益累計額合計	467,479	1,001,454
新株予約権	4,496	12,164
非支配株主持分	673,514	720,128
純資産合計	7,493,911	8,471,789
負債純資産合計	20,534,636	19,870,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	24,003,993	24,550,196
売上原価	16,961,971	16,575,700
売上総利益	7,042,022	7,974,495
販売費及び一般管理費	6,031,020	6,649,562
営業利益	1,011,002	1,324,933
営業外収益		
受取利息	3,632	3,532
受取配当金	12,959	11,004
違約金収入	28,168	38,905
その他	14,745	18,360
営業外収益合計	59,506	71,802
営業外費用		
支払利息	5,456	5,395
為替差損	—	25,342
貸倒引当金繰入額	—	41,706
持分法による投資損失	66,639	34,436
その他	9,639	16,920
営業外費用合計	81,735	123,801
経常利益	988,772	1,272,934
特別利益		
固定資産売却益	213	—
投資有価証券売却益	—	5,550
特別利益合計	213	5,550
特別損失		
固定資産除売却損	2,308	168
投資有価証券評価損	—	1,501
減損損失	—	2,559
特別損失合計	2,308	4,230
税金等調整前四半期純利益	986,677	1,274,254
法人税、住民税及び事業税	374,178	308,930
法人税等調整額	30,479	101,711
法人税等合計	404,658	410,642
四半期純利益	582,019	863,612
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,960	91,741
親会社株主に帰属する四半期純利益	472,058	771,871

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	582,019	863,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,371	531,817
退職給付に係る調整額	△2,864	11,129
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,792	△8,972
その他の包括利益合計	△63,027	533,974
四半期包括利益	518,991	1,397,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	409,030	1,305,846
非支配株主に係る四半期包括利益	109,960	91,741

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	986,677	1,274,254
減価償却費	120,685	157,680
減損損失	—	2,559
のれん償却額	61,856	62,256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	40,294	61,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,420	△95,251
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60,490	△86,659
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,360	△9,900
受取利息及び受取配当金	△16,592	△14,537
支払利息	5,456	5,395
持分法による投資損益(△は益)	66,639	34,436
固定資産除売却損益(△は益)	2,095	168
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,550
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,501
売上債権の増減額(△は増加)	776,200	559,199
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,500	△90,030
前払費用の増減額(△は増加)	△356,023	△207,481
仕入債務の増減額(△は減少)	△639,219	△557,955
未払金の増減額(△は減少)	△235,146	△162,022
その他	△18,722	△190,478
小計	598,150	738,886
利息及び配当金の受取額	17,449	15,222
利息の支払額	△5,561	△5,333
法人税等の支払額	△271,777	△815,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,261	△66,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,000	—
有形固定資産の取得による支出	△71,361	△60,907
有形固定資産の売却による収入	235	—
無形固定資産の取得による支出	△92,226	△217,887
投資有価証券の取得による支出	△183,515	△20,424
投資有価証券の売却による収入	27,605	9,214
貸付けによる支出	△52,001	△8,167
貸付金の回収による収入	13,025	11,122
その他	△3,224	△73,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,462	△360,490

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	694,665	△50,000
長期借入金の返済による支出	△46,196	△12,198
金銭の信託の増減額(△は増加)	573,228	—
自己株式の取得による支出	△574,736	△31
配当金の支払額	△354,946	△392,482
非支配株主への配当金の支払額	△32,671	△48,386
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△236,803	—
その他	△14,363	△9,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,176	△512,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,198	△10,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,826	△949,865
現金及び現金同等物の期首残高	4,595,783	5,680,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,583,956	4,730,961

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,232,722	6,305,181	5,245,036	3,583,296	23,366,237	637,756	24,003,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	223,195	343,481	8,764	-	575,441	3,300	578,741
計	8,455,918	6,648,662	5,253,800	3,583,296	23,941,678	641,056	24,582,734
セグメント利益又は損 失(△)	560,037	337,432	166,372	△64,612	999,230	66,258	1,065,489

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	999,230
「その他」の区分の利益	66,258
セグメント間取引消去	3,512
のれん償却額	△57,999
四半期連結損益計算書の営業利益	1,011,002

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,900,857	6,955,865	4,872,502	3,254,013	23,983,239	566,957	24,550,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	267,863	305,627	9,862	5,735	589,088	21,225	610,314
計	9,168,721	7,261,492	4,882,364	3,259,748	24,572,327	588,182	25,160,510
セグメント利益	847,092	299,260	179,861	6,174	1,332,389	41,242	1,373,631

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,332,389
「その他」の区分の利益	41,242
セグメント間取引消去	9,301
のれん償却額	△57,999
四半期連結損益計算書の営業利益	1,324,933

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては145千円であります。

また、処分を予定している事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,250千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては163千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。